

イーストスプリング・  
アジア・オセアニア  
好配当株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン」は信託約款の規定に基づき、2021年10月15日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。

ここに、その運用状況をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

作成対象期間 2021年4月16日～2021年10月15日

第16期 2021年10月15日償還

第16期末	償還価額	20,740円18銭
	純資産総額	1百万円
第16期	騰落率	-12.6%
	分配金合計	一円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

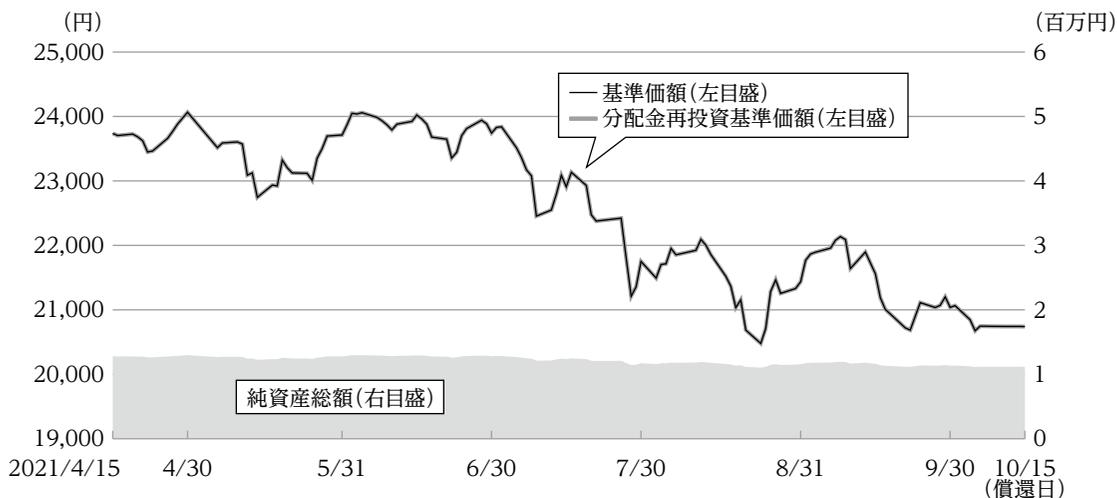
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「サイトマップ」を選択⇒ファンド情報の「償還ファンド」を選択⇒該当ファンドの「運用報告書を見る」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2021年4月16日～2021年10月15日)



第16期首	23,736円
償還日	20,740円18銭 (既払分配金一円)
騰落率	-12.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・保有する銘柄の株価が下落したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月16日～2021年10月15日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	0.524%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、22,624円です。
(投信会社)	(104)	(0.458)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 6)	(0.028)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 9)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	24	0.107	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株式)	( 23)	(0.103)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資信託証券)	( 1)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	15	0.066	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
(株式)	( 15)	(0.064)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(投資信託証券)	( 0)	(0.002)	
(d) その他費用	38	0.170	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 6)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	( 32)	(0.142)	キャピタルゲイン税、インドおよび台湾の税務代理人に対する手 数料等
(その他2)	( 0)	(0.000)	権利に係る税金
(その他)	( 0)	(0.000)	株式転換に係る費用
合計	196	0.867	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

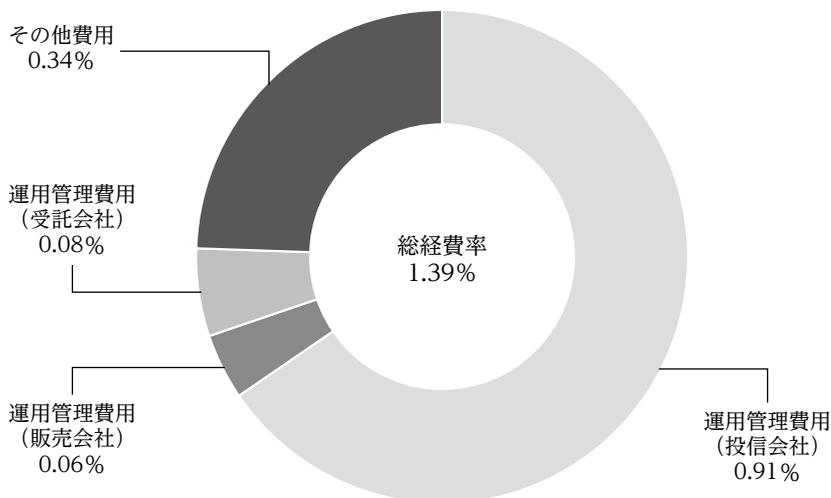
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2016年4月15日～2021年10月15日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年4月15日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2016/4/15	2017/4/17	2018/4/16	2019/4/15	2020/4/15	2021/4/15	2021/10/15 償還日
基準価額 (円)	14,922	17,055	19,209	19,435	15,594	23,736	20,740.18
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.3	12.6	1.2	-19.8	52.2	-12.6
純資産総額 (百万円)	0.8	0.9	1	1	0.8	1	1

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### アジア・オセアニア地域の株式市場

アジア・オセアニア地域の株式市場は、中国の政策リスク懸念から通期では下落しました。

期初から2021年6月までは、2021年1－3月期の企業決算が好調であったことや米国長期金利上昇が一服したことなどもあり、小幅な上昇となりました。しかし7月には中国当局はインターネット企業への規制強化や学習塾の非営利団体化を打ち出したことで株価は調整を余儀なくされました。社会的公平性、公平な競争環境、労働条件の改善、出生率の向上など中国政府が掲げる政治目標の達成を妨げる要因に対して、当局が民間企業に一定の規制を課すことにより、企業も社会的責任を負うべきである、という中国政府の意図がみられました。8月には買い戻す動きも見られましたが、9月には不動産開発大手の債務問題や中国政府による香港不動産業界への規制など民間企業に対する規制強化への懸念が

台頭して再び下落しました。その後、中国人民銀行（中央銀行）が不動産市場の健全な発展を求めるとコメントしたことなどをを受けて市場の懸念は和らぎ株価も下げ止まりましたが、通期では下落となりました。

### 為替市場

アジア・オセアニア地域の通貨の中で、新型コロナウイルス感染拡大がみられた韓国や洪水による被害が嫌気されたタイなどの通貨は対米ドルで下落しました。一方で新台幣ドルなどは対米ドルで上昇しました。

円は日米長期金利差拡大などを受け米ドルに対して下落しました。その結果、対米ドルの下落幅が相対的に大きい韓国ウォンやタイバーツは円に対して下落し、新台幣ドルならびに米ドルに連動している香港ドルは円に対して上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

なお、繰上償還の決定を受けて、マザーファンド受益証券の全解約を行いました。

### イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目

指した運用を行いました。

当期中の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がり期待できる銘柄の中から、配当利回りが相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、台湾などを引き上げる一方、中国などを引き下げました。セクター別では、エネルギーなどを引き上げる一方、一般消費財・サービスなどを引き下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

償還のため、該当事項はありません。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

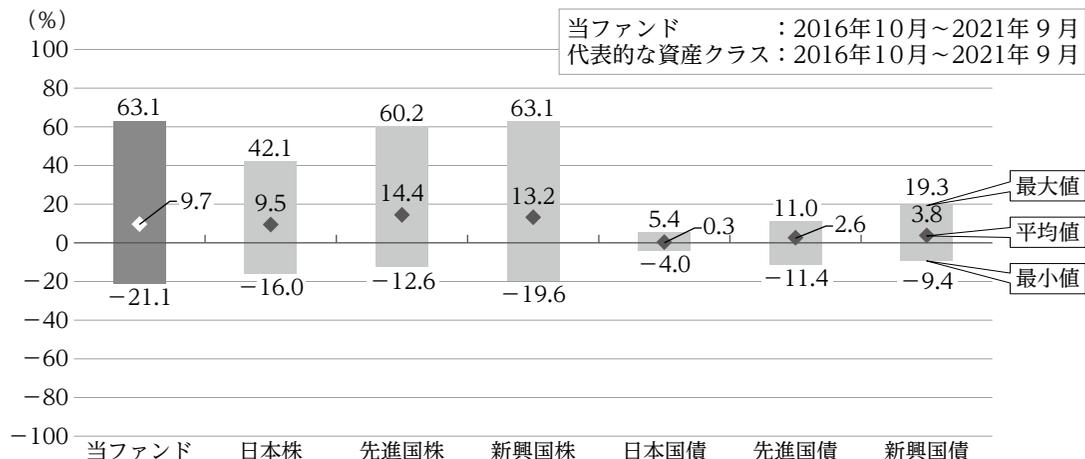
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年4月17日から2021年10月15日まで（当初、無期限）	
運用方針	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への実質投資割合には制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>
分配方針	原則として毎決算時（4月15日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	JPMorganGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

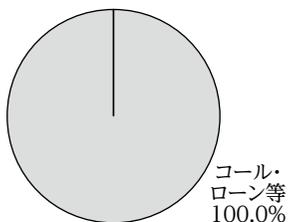
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

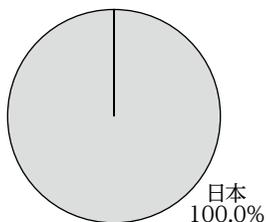
#### 組入ファンド

2021年10月15日現在、有価証券の組入れはございません。

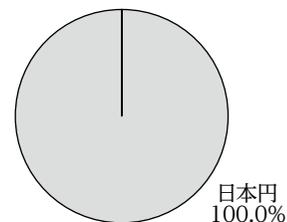
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目		償還日 2021年10月15日
純資産総額	(円)	1,117,734
受益権総口数	(口)	538,922
1万口当たり償還価額	(円)	20,740.18

\*当期中において追加設定元本額は0円、一部解約元本額は0円です。